

月曜是非

天災と新縣議

選舉史上特筆すべき肅正下に郡民總意の最後の審判の洗禮を受けて華々しく縣政壇上に躍り出た我等の輝ける代表者諸君に課せられた眼前の期待と信頼は可成り大きなもののある中に、第一回の試験として偶然天災に依る地方民の窮乏打開に諸公の努力を望む切なるものがある、最近の全國の迷途颯風の激甚の被害は昨年の大凶作に比する米作の大減収となり、本郡にても山間部三阪、澤渡、田人方面の大減収は昨年と引續いて皆無の大慘狀を顯出し辛ふじて免かれた村落も廿五六日の全郡に亘る冠水は、大減収への悲惨に拍車をかけ、窮乏來農村の慘狀は今や衝天に達し之が救済運動は刻下の急務となつてゐる。

これ等地方窮乏農村の打開と救済は一つに新縣議諸君の双肩に懸かり、來るべき縣會に於ける活躍は直接窮乏郡内農村の更生を招致する大問題であり、諸君に課せられた期待は絶対のものである。

幸ひに肅正下の第一回選舉に榮譽を獲得された諸公にして郡民の期待を空しくらしめざる様一段の奮發を望む。

冷害救済の叫び猛然と

本郡の水害並に農村關係の冷害霖雨の被害は頗る甚大で現在山間部方面は實地に調査されてゐるが郡下の状態は熾烈な救済運動が起るものと思はれるべき縣會にも同問題で災害復舊と同時に猛烈に叫ばれると思惟される。

縣會を自當として

赤津氏が再び町長

赤津氏が再び町長に就任を懇請し近く町會を開いて再任を決定する筈

今次の選舉に勿來町から出馬して苦杯を嘗めた赤津庄兵衛氏の手腕を知る同町の有志は再び同氏の町長就任を懇請し近く町會を開いて再任を決定する筈

過般の暴風被害で

拂下米の效果薄く

在庫米の共同販賣高値豫想

平農業倉庫は明日午後三時より在庫米四百四十四俵の共同販賣を行ふが米價豫想は過般の暴風被害の爲め新米收獲は二割減と見られるに至つたので最近郡内に入り込んだ政府拂下米の影響も薄く前回入札の一俵十、二圓前後の高値を依然保たれるものと見られて居る。

全國商業美術展へ

平商から代表作品出陳

出品すると

平商業學校では廿八日午前十時より同校講堂で生徒の商業美術ポスター展覽會を開催したが平町商工會役員及び一般商店關係の參觀者五百餘名あり盛況を呈した尙同校では來月十日東京白木屋で開催の東京府下商業學校聯合會主催の第二回全國商業美術展覽會へ神谷忠男君外十六名の優秀作品を振り見せた

凶作免税

稅務署で協議

減収を豫想される山間部地方稲作は部分的には昨年以上の凶作の所あり従つて免税を申請するもの相當ある

依然高値

四倉商市場

四倉商市場の廿八日取引は

招致し減収七割以上の免税手續その他の善後處置に關し協議したが本年の免租は昨年以上に達するものと思はれてゐるものと思はれる

下水路工事

鋪裝着手前に

負擔金を取纏めて

平町が工費五千圓豫算で工事計畫をたてた子鐵倉神社前から新川に注ぐ延長二百間の排水路工事中紺屋町地内の國道横斷箇所は近く縣營國道鋪裝工事が開始されるのでその以前に着手する事となり明日午後一時から町會議事堂に關係區たる長橋、古研、紺屋町、材木町の各區長を招ぎ地元負擔金二千圓の取纏めに就いて協議する

十六區優勝

分團對抗野球

雨に祟られて延期を重ねた平町青年團の分團對抗軟式野球決勝戦は昨日午前九時より磐中グラウンドで舉行されたが強豪揃ひの四チーム熱戦を展開し遂に優勝旗は十六區の獲得すると

△準決勝
十六區4A—1 胡摩澤
十七區3A—2 二丁目
△決勝
十六區2001100
十七區2001100
十六區200600A
十七區3A—4

底曳船の解禁に

各濱早くも活氣立つ

底曳船解禁を明日に控へて去る六月十六日以来沈黙を續けた磐城各濱の各漁港底曳業關係者は船体の手入れ機關の修造に大忙であるが去る九月廿一日の秋刀魚漁開始より未曾有の豊漁に一時颯風の被害ありとは云へず活氣を見せつつある漁業者は殊更横濱の好景氣を豫想し早くも活氣立つてゐるが江名港中之作港を通じて底曳船は八十隻餘の大量出漁船を見ることとして本郡水産加工品の大半を占むる蒲鉾の製造も盛んに行はれる譯である

教員体育

神宮出場の覇權を獲得

弱權を獲得

本縣體育協會主催の縣下小學校教員陸上競技神宮豫選大會は昨日午前八時より福島市營グラウンドに於て開催されたが本郡よりの出場選手は活躍物凄く左の三種目に優勝神宮出場選手權を獲得した

△走巾跳決勝(六米六一)
入山校丹野富士男△走高跳決勝(一米七十一)平第二鈴木武雄 △柔道中根武雄

肥料配給

改善打合せ

縣農會では本郡の肥料配給改善の爲め十月十二日午前九時から平町團體事務所各村民會長を招集して協議會を開き更に十一月一日には夏井村で改善の實地指導を行ふ

御會葬御禮

昭和十年九月二十九日

織田萬次郎

兒童ながら

眞劍な競技振

けふ第三區大會開く

日午前九時より平商(トラック)平第一(フィールド)の兩校庭で舉行されたが参加十六校の出場選手七百餘名が必勝の意氣に燃えて碧空の下に兒童ながら眞劍な競技振りを見せた

女給と客を乗せ

メクラ法走る

運轉を誤つて激突大破

七針の一人は生命危篤

内郷村大字綴薄葉自動車部内柏崎清(九)は同村驛前カフエーパツカスこと金子とよ方女給三名と客三名を乗せた貸切を無免許で運轉平町に向け快速力で疾走中同村御所地内國道で出し過ぎたスピードに運轉を誤り傍らの土手に激突大破した同乗の女給齊藤ゆき(七)

は右眼の上、左手首に全治一ヶ月の裂傷、長谷川せつ(三)は二週間の打撲傷、菊田よしの(三)は頭部を強打客の同村加々美誠(九)は前歯二本を折り何れも平町木村醫院に入院手當中であるが被害若中菊田よしのは生命危篤である

機關室の中に

副船長の溺死体

海中で潜水夫が発見

既報激浪の爲め沈没した小名濱町内務省築港の開北丸及び敦賀丸乗組溺死者の行衛は其の後潜水夫を入れて海中を捜査の結果去る廿八日朝沈没した敦賀丸機關室の中から副船長大島新藏(五)氏の溺死體を見出し更に昨二十九日には江名町仲ノ作漁船成田丸が小名濱沖合南方二哩の地点で開北丸水夫宮城縣生れ須藤次郎(五)の溺死體が漂流して居るのを発見拾ひ上げたので是れに力を得残る二名の溺死體を極力捜索中である

片倉製糸

従業員運動會

平町若城片倉製糸工場従業員運動會は十月廿七日午前八時から第三小學校庭に催し従業員家族を招待して盛大に開かれる

富岡違反

罰金言渡

過般の富岡町議選舉に買収及び戸別訪問を行つた同町堀川亮外三名に此程平區より左の如く略式で罰金言渡された

再度來平する

すわらじ劇團

新作ものを上演

愛國婦人の資金造成

平町愛國婦人會は女子青年團、社會事業助成會等の後援の許に資金造成の爲め來る十八、九の兩日昨年來平した「すわらじ劇團」を招き聚樂館に於て觀劇會を催す事になつたがプログラムは矢島勝吾作「旅へ出た雲居禪師」竹田敏彦作の「試験地獄」藤島一虎作の「彌太郎脱走」伊藤櫻洲作の「家庭圓滿」等目新しいものばかりである

神谷方面へ

平商強行軍

平商業學校では今卅日全校生徒の強行軍を神谷方面へ向つて行つた

發狂者の家出

村字藤間一二青木傳壽(六)は二三ヶ月前より精神に異常を呈し家人が監視中去年廿六日午後八時頃家出したが自殺の恐れがあると本日平署に捜査方を願ひ出た

小鼠泥を

二十數件

磐崎村大字上湯長谷居住無職石川守(七)假名は本月九日夜同村小野田炭礦事務所ら役場内に役員會を開き方

渡邊農會役員

渡邊村農會は明日午前九時から役場内に役員會を開き方

明日の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話 電送寫眞江崎達夫
- 後六、二五 基礎英語講座
- 同會由三郎
- 後七、三〇 國勢調査の夕
- 後八、五〇 浪花節「會津の小鐵と新門辰五郎」京山幸枝
- 四〇 福田民太郎(四)△二
- 十圓 同町字前澤田九三
- 農渡邊與重(九)

今朝の部

- 後九、三〇 時報 ニュー
- ス 氣象通報 番組豫告
- 今 晩 の 部
- 前六、三〇 基礎ドイツ語
- 講座 武内大造
- 前七、〇〇 朝の修養 無量壽經三誓偈羽溪了諦
- 前九、一〇 朝鮮總督府治政廿五年記念式典實況
- 部役員の改選を行ふ

より中繼

- 後六、〇〇 子供の時間
- 偉人物語「十月生れの偉人」高島平三郎
- 後六、二五 講演「商業組法合について」勝正憲
- 後七、三〇 講演「治政廿五周年記念日を迎へて」宇垣朝鮮總督府朝鮮治政廿五周年に際し 齊藤實子
- 後八、〇〇 朝鮮歌謡の變遷 金水晶他
- 後八、三〇 歌謡小梅
- 後八、五〇 管絃樂 新交響樂團

一軒の家へ……

度々忍こみ

七回目に捕はる

内郷村大字白水字三光下居住坑夫西白川郡古關村生れ深澤正美(五)は本月一日以來同村字宮澤雜貨商加藤某方に忍入り現金、確詰等時價六十圓を前後六回に亘つて窃取し昨廿九日夜再び同家を襲はんとして平署員に捕はれた

泥酔の炭礦員

電信係を毆打

應接振りが癪だとして

好間村古河炭礦務係笹島春松(三)購買係某(五)の兩名は本月九日夜八時頃強か泥酔して同村郵便局に立寄つた際同局電信係中山三郎君の應接振りが生意氣だと同君を毆打全治三週間の傷を負はした

平裁判たより

△双葉郡富岡町大字小濱字天王崎六稻元進義方自動車

△柏へ 二十六迄 月十圓

上田病院

平町 南町 電話一二九番

- △農夫 五十迄 月六圓位
- △保險外交員 尋卒 外面
- △書生 十七才 高卒 月一圓 外仕着
- △女中 二十三才 尋卒 回職を求むる方
- △漁業雜夫 二十四才 高卒
- △コック見習 二十四才 高卒
- △料理人 二十八才 尋卒
- △集金人 三十八才 中學半途
- △旅館女中 二十五才 高卒
- △女中 二十才 高卒

- △白銀町 當時東京市大森區新井宿三丁目清水滋氏 三男好久
- △胡摩澤 當時勿來町字出藏渡邊政吉氏三男豊

明治太平記

（小説）

（五）



第二百三十八回

開化の鬼 (五)

「ようし、ちや助太刀屋、ウエルズも惜しいが、てめえにまかしたぞ、人斬りの恨みをはらしてやつてくれ……」

「わかつた、往けい」

三人の黒装束はバラ／＼とホテル館の方へ駆けていった。

ついで、ウエルズも、釋放されたつもりで、反對の延途館の方へ駆ようとした。

「待てい！」

ウエルズの燕尾服の襟もとをとらへて、ぐいと引いた。

「お、おれは、英國の輝かしき將校であるぞ」

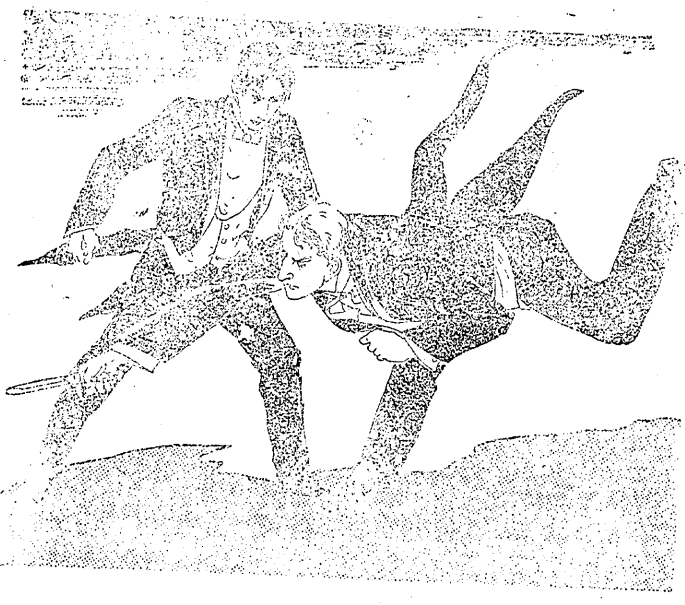
よろ／＼となりながら、ウエルズは、武官の誇りを誇らうとする。

「將校でも、蜂のあたまでよい、いまは、お互に燕尾服着た浪人だ」

「いや」

「浪人といはれるのが口やしいか、よろしい、たつたいま、その浪人でなくしてやろう」

襟もとへかけた手を離す



と、ウエルズは、やつと、外國武官らしく、そり身になつて振かへつた。

「お、おれは、英國の輝かしき將校であるぞ」

「わかつた、輝かしき將校だらう。それは、むかしのこと。おれとて、むかしは徳川直參、旗本八萬騎の一人だ。お互さまだ」

國武官の名において、おまへに決闘を申込む」

彼はポケットに忍ばせた海軍ナイフを取出して、大志賀の面前に突つけた。

「ハッ、ハ、ハ、味なまねをするな。だが、相手になつてやうだが、それこそ輝かしき旗本八萬騎の一人として、けだもの、決闘の申込みをうけるほどおれのこゝろは腐つてをらぬぞ」

「怖れたかハ、ハ、ハ、なアに怖れるどころか、相手にしては不足だ」

「おのれ」

隙を狙つてゐたウエルズは、いきなり大志賀の脇腹

「いや」

「また、ほざくか……いまあれが戻つてくるまで、一歩たりとも此場を動いたら承知せぬぞ」

「侮辱だ。なんといふ侮辱か……おい浪人、おれは英國武官の名において、おまへに決闘を申込む」

彼はポケットに忍ばせた海軍ナイフを取出して、大志賀の面前に突つけた。

「ハッ、ハ、ハ、味なまねをするな。だが、相手になつてやうだが、それこそ輝かしき旗本八萬騎の一人として、けだもの、決闘の申込みをうけるほどおれのこゝろは腐つてをらぬぞ」

「怖れたかハ、ハ、ハ、なアに怖れるどころか、相手にしては不足だ」

「おのれ」

隙を狙つてゐたウエルズは、いきなり大志賀の脇腹

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男

平町田町(電話五八番)
藤田女學校前

自炊のお需めに應ず
入院の便あり

平町田町通電話五五六番

玉屋洋品店

死物狂ひに、さらに突込んでくるやつを、小馬鹿にしてゐる。

おとわは、容易に戻つて来ない。

河となく、気がうらだ。

パークスとともに、ホテル館へ無事に戻つたおとわは、その無事であつたことを、すい分恨めしくおもつた。

まづ、約束をまもらぬ敵のウエルズを憎んだ、助太刀の責を果してくれぬ大志賀を恨んだ。

ホテル館まで、可成り道草を食つて歸つてきたつもりである。いくらなんでもそのあひだに、ふたりが追付かれぬ道理がない、それを無事に歸らしたといふ



は、ふたりに、眞實味がな

いのだとおもつた。

ことに大志賀の違約に人情のはかなさを、しみじみ身にこたへた。

清涼の小瀧へ!!

◆宿泊料 1.50 2.00 2.50
(御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)

◆日歸浴席料 20

◆自炊料 50-80 入湯料・室料
夜具料一切

◆料理一定食 80 1.00 1.50
その他一品料理洋食

◆湯効 神経痛・リウマチス・胃腸病・痔疾・婦人病・道上・中風・肥胖病
(内務省東京衛生試験所検定済)

◆諸設備 撞球臺・高級ラヂオ・大廣間・讀書室・近代式浴場と洗面部・洗式便所・小動物園・タクシ-子機運動物具

◆名産物 川魚料理(うなぎ・鯉) 蜂蜜羊かん

●女中數名入用 常營線湯本驛 小瀧鑛泉

御旅館 瀧の湯
御自炊 電話 小名濱 103番

さうおもふと、聲をかきりに泣いて泣き死んでしまひたかつた。だから、パークスが親切にしてくれるほど、反發的につれなく當るのは、こゝろまた人情だ。いやもう、仇討ちも、戀も、愛も死もめちやくちやだつた。

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお奨め致します

平町田町六九

喜多流 白土會

電話一二七番

夜間

腸胃科 性病科

皮膚科 花柳病科

内科 胃腸病科

松村性病腸胃病醫院

(平町南町一〇七番)